

## (人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。未成年の方が本研究へ参加される場合、保護者の方で研究協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 内受容知覚訓練の認知神経科学的効果の検証

【研究責任者】 精神保健研究所 行動医学研究部 関口 敦

【本研究の目的及び意義】

内受容感覚とは、呼吸・心拍・腸管の動きなど身体内部の生理的な状態に対する感覚を指します。最近の研究では、内受容感覚の処理異常は、社交不安障害や心身症などのストレス関連疾患メカニズムとして注目されています。内受容感覚の処理の異常は、認知的な訓練によって修正できることが知られており、本研究では社交不安傾向の高い群に対して、内受容感覚の認知訓練課題を実施し、内受容感覚の修正とその脳科学的な特徴を明らかにして、ストレス関連疾患の診断・治療技術の向上に役立てることを目的としています。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2018年7月1日より2022年12月31日までの間に、標記の研究のスクリーニング検査及び内受容感覚訓練に参加された方

利用する試料・情報等

情報等: 被験者情報(年齢、性別など)、心理検査データ、脳MRI データ

研究期間

2018年5月14日より2023年3月31日まで

【共同研究機関】

慶応大学 文学部 心理学専攻 研究責任者 寺澤悠理

2018年5月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所  
所属 行動医学研究分野 氏名 関口敦  
電話番号 042-341-2711(代表)  
e-mail: asekiguchi※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局  
e-mail: ml\_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)